

# 令和2年 死亡災害の概要

神奈川県労働局  
令和3年4月30日確定

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 被災者の年齢層	起因物 事故の型	発生概要
1	2月 16時頃	土木工事業 50人～99人 75歳～79歳	基礎工事用機械  激突され	被災者は自社で杭打機の輸送時仕様への組立の補助に従事。運転手が杭打機のリーダー下部を接地固定させていたジャッキを縮めて接地解除操作をしたところ、長さ約2メートルのリーダー下部が、リーダー本体とのヒンジを支点に大きく揺れた。その瞬間に被災者が何らかの理由で揺れる範囲に立ち入ってきて、リーダー下部に激突された。
2	2月 15時頃	建築工事業 ～9人 20歳未満	乗用車、バス、 バイク  交通事故(道路)	神奈川県外での出張作業から戻る途中の高速道路で、車が側壁に衝突し、助手席から車外に放り出された。
3	3月 0時頃	土木工事業 30人～49人 45歳～49歳	建築物、構築物  墜落、転落	鉄道トンネルの坑口構造物の上を通る、幅1.5メートルの通路を歩行中、体勢を崩し、約13メートル下の線路付近に墜落した。
4	3月 10時頃	その他 (漁業) ～9人 45歳～49歳	その他の乗物  はさまれ、 巻き込まれ	操業中の漁船(総トン数5トン未満)で揚網機を動かし、引き揚げ過ぎた漁網を戻す操作をした際に、漁網を挟み込んで回転する2個のゴムボールの間に、腕(合羽の袖口からと推測される)から頭部を巻き込まれた。
5	3月 15時頃	その他 (その他の事業) ～9人 40歳～44歳	その他の 動力運搬機  墜落、転落	上りエスカレーターを一人で点検し、自動運転にして足踏みで異音チェック中、自分で踏段2枚を外した開口部(横1メートル、縦80センチメートル、深さ1メートル)が後方から上がってきたのに気付かず落ち込み、降り口まで運ばれて降り口の固定板と後続の踏段との間にはさまれた。
6	3月 9時頃	陸上貨物 運送事業 ～9人 75歳～79歳	その他  起因物なし	被災者は荷主構内でトラックに荷積み中、心筋梗塞を発症し10日後に死亡した。その後の調査で、長時間労働による過重な業務に従事していたと認められた。
7	4月 18時頃	清掃・と畜業 (その他の 清掃・と畜) ～9人 65歳～69歳	化学設備  墜落、転落	塔状の化学装置内部における充填物交換作業に従事中、充填物の山をスコップでならしていたところ、固定されていなかった足元のグレーチングがずれ、グレーチングとともに約5メートル墜落した。

8	4月 16時頃	一般機械器具 製造業 30人～49人 50歳～54歳	研削盤、バフ盤  はさまれ、 巻き込まれ	ホーニング研削盤を操作して円筒形素材の内径部分を研削中、椅子から立ち上がった際によろけ、回転砥石ヘッドの回転軸(直径2～4センチメートル・長さ58センチメートル)に触れた左肘内側から作業服が巻き込まれ、作業服によって首が絞められた。
9	6月 9時頃	清掃・と畜業 (その他の 廃棄物処理業) 10人～29人 50歳～54歳	トラック  交通事故 (道路)	一人でパッカー車によるごみ収集中、収集のため坂道に停車させていた無人のパッカー車が坂道(傾斜3度前後)を約75メートル後退し、その途中で被災者が轢かれた。
10	6月 3時頃	陸上貨物 運送事業 100人～299人 55歳～59歳	トラック  交通事故 (道路)	赤信号停車中の車列に10トントラックが突っ込んで合計4台の玉突き事故となり、車列最後尾にいた被災者の3トン車が、突っ込んだトラックと前方の大型トレーラーに挟まれ、運転席が大破した。
11	6月 12時頃	一般機械器具 製造業 ～9人 75歳～79歳	玉掛用具  飛来、落下	埠頭にてトレーラシャーシに2トントラック等合計3台を乗せて固縛一体化した荷(重量28t)を揚貨装置で吊って船積み中、玉掛用具のチェンスリングが切断して荷が約10メートル落下し、荷役とは別の発注による溶接作業のため船倉内の中甲板にいた2名が下敷きとなった。
12	6月 12時頃	その他の 小売業 30人～49人 35歳～39歳	乗用車、バス、 バイク  交通事故 (道路)	本社から営業所に向かって高速道路を営業車(ライトバン)で走行中、追い越し車線で蛇行し中央分離帯に接触し裏返ったところに、後続車両が衝突した。
13	7月 0時頃	土木工事業 10人～29人 20歳～24歳	乗用車、バス、 バイク  交通事故 (道路)	夜間工事の現場に向かって高速道路を走行中のワゴン車が、ジャンクション前の右カーブでブレーキをかけたところタイヤが横滑りして道路左側側壁に車両左後部が衝突し、同乗の作業者のうち2名が死傷した。
14	7月 11時頃	土木工事業 30人～49人 65歳～69歳	その他の環境等  墜落、転落	橋梁建設工事現場の仮設の構台に設置していた二柱式看板(高さ3メートル、看板部分の高さ0.9メートル×幅4メートル)を2名で撤去中、突風(当日の最大瞬間風速11.1メートル/秒)で看板があおられて、1名が看板と一緒に構台の手すり(高さ102センチメートル)を超え、構台下の橋脚用深礎杭の底まで、約60メートル墜落した。

15	7月 1時頃	その他の 建設工事業 10人～29人 45歳～49歳	トラック  交通事故 (道路)	夜間工事現場の残土を、外注ダンプで運搬中、残土捨て場の受付所の手前の道路上にダンプを止め、荷台にかけていた飛散防止用シートを外し、道路上でシートを折り畳み丸めているとき、後方から来た別会社のダンプに轢かれた。
16	8月 11時頃	建築工事業 10人～29人 35歳～39歳	足場  墜落、転落	11階建てビル新築現場で、外周の枠組足場を解体作業中、被災者は足場10層目で、解体した足場部材を地上に下ろすため、下の層にいる作業者に渡した際に、誤って地面まで約17メートル墜落した。フルハーネス型墜落制止用器具を着用していたが、そのフックを使っていなかった。
17	8月 18時頃	清掃・と畜業 (産業廃棄物 処理業) 50人～99人 40歳～44歳	高温・低温環境  高温・低温の物 との接触	夏休み明けの初日、焼却炉を稼働する準備作業において、高温環境下で、炉内の補修材をミキサーで練る作業をしていたところ、泡を吹いて心停止状態で倒れていたのを同僚に発見された。(熱中症の疑い)
18	8月 15時頃	土木工事業 10人～29人 60歳～64歳	建築物、構築物  墜落、転落	建設残土の仮置き場に常駐しドラグ・ショベルで残土を均していたところ、残土の下に隠れていた、廃止済の地下タンク(直径約45メートル、深さ約30メートル)の蓋が崩れ落ち、ドラグ・ショベルとともに落下した。
19	9月 14時頃	建築工事業 10人～29人 55歳～59歳	屋根、はり、もや、 けた、合掌  墜落、転落	工場の屋根の補修工事において、さび等の破片が屋根の上に散乱したので、これを掃き集めていたところ、スレート下地金属板複合屋根の、下地であるスレート板及び上部の金属波板の腐食度合の高い箇所を踏み抜き、約8メートル下の工場床に墜落した。
20	9月 18時頃	陸上貨物 運送事業 10人～29人 65歳～69歳	トラック  交通事故 (道路)	被災者は荷主に書類を届けた後、帰社するため自車の駐車場所まで戻ろうと、道路を徒歩で横断していた。その際、横断経路左側の路肩に停車していたトラクターヘッドが後進して被災者を轢いた。
21	9月 11時頃	建築工事業 ～9人 80歳～84歳	足場  墜落、転落	宗教施設改修工事において、外周に設置したクサビ緊結式一側足場の足場板から約3メートル墜落した。
22	9月 3時頃	清掃・と畜業 (その他の廃棄物 処理業) 10人～29人 40歳～44歳	トラック  交通事故 (道路)	自社商品の納品先に向けて高速道路を走行中の大型トレーラーが、左側ガードレールと接触し横転、追い越し車線側のガードロープに衝突した。

23	10月 10時頃	清掃・と畜業 (その他の廃棄物 処理業) 30人~49人 70歳~74歳	その他の 一般動力機械  はさまれ、 巻き込まれ	ごみ(資源プラスチック)の自動横型圧縮梱包機の運転係が、側面の点検口から圧縮区画内に上半身を入れセンサーを点検中、自動運転のままだったため、同人の身体がセンサーに感知され、作動した圧縮機構にはさまれた。
24	10月 12時頃	陸上貨物 運送事業 30人~49人 65歳~69歳	トラック  はさまれ、 巻き込まれ	配送センターで、4トントラックに荷を積み終えて、テールゲートリフターを格納(後部扉の面まで垂直に畳んで保持)した際、プラットホーム(10トン車用)の高さに合わせるため台木に乗せていた後輪が落ち、車体が後進して、プラットホームとの間にはさまれた。
25	10月 11時頃	製造業 (機械修理業) 100人~299人 55歳~59歳	作業床、歩み板  墜落、転落	立体駐車場の内部の劣化状況の点検において、車用リフトの上に床を半面だけ敷いて乗り込み、最上部まで上昇させ、写真撮影のため後ずさり中、床を敷かなかった開口部(約2メートル四方)まで下がってしまい、約26メートル墜落した。
26	10月 9時頃	建築工事業 10人~29人 60歳~64歳	地山、岩石  崩壊、倒壊	地上43階地下2階建てビル新築現場で、深さ10メートルまで縦穴状に掘削し土止め支保工を設け、さらにドラグ・ショベルで約2メートル掘り下げたところで予想を超える湧水があり排水ポンプ設置の段取り中、横矢板下部より土砂が流出して埋まった。
27	10月 14時頃	土木工事業 ~9人 50歳~54歳	その他の 環境等  その他	線路脇の法面の除草作業中、茂みから出てきたオオスズメバチらしき蜂に腕を刺され、アナフィラキシーショックを発症した。
28	11月 15時頃	その他 (その他の事業) 10人~29人 70歳~74歳	立木等  墜落、転落	樹木(常緑高木「ホルトノキ」、胸高直径30センチメートル)の枝に乗って、手ノコで剪定していた。作業中に、乗っていた枝、胴ベルト型墜落制止用器具を取り付けていた枝、握っていた枝が3本とも折れて、4メートル墜落した。
29	11月 7時頃	清掃・と畜業 (産業廃棄物 処理業) 30人~49人 70歳~74歳	トラック  はさまれ、 巻き込まれ	パッカー車の荷箱から収集物を排出した後、上げていたテールゲートを運転席から操作して下降中であった。被災者は離れた位置で関係のない作業をしていたが、下降が一時停止した際に同車に接近し、下降再開したテールゲートと荷箱後端との間にはさまれた。
30	11月 13時頃	建築工事業 10人~29人 55歳~59歳	建築物、構築物  墜落、転落	解体済家屋の基礎部分を含む人工地盤(高さ約6メートルの盛土)の解体撤去工事現場で、人工地盤に混在する廃棄物を手作業で分別中、人工地盤の端から約6メートル墜落した。

31	11月 4時頃	陸上貨物 運送事業 50人～99人 55歳～59歳	建築物、構築物  墜落、転落	トラックで配送中、国道を跨ぐ県道の高架橋を走行時に、座席に置いた書類が助手席の窓から飛ばされた。降車して探している際に、高架橋の柵を乗り越えて墜落した。
32	11月 10時頃	セメント・ 同製品製造業 10人～29人 55歳～59歳	移動式クレーン  交通事故 (道路)	自社製品納品先の工事現場付近に積載形トラッククレーン(通称ユニック車)を駐車し、荷卸しの妨げとなる自車のジブを車体右側の操作レバーで前方に旋回させていた。その際、傾斜8度の坂道であったため無人の車体が後進し、車体と背後の擁壁との間にはさまれた。
33	12月 13時頃	建築工事業 10人～29人 25歳～29歳	金属材料  崩壊、倒壊	資材置場で一人で単管足場の支柱18本の束(長さ3.6メートル、直径5センチメートル、重量13キログラムの支柱を横6本3段にして番線で束ねたもの)を2束ずつ金属バンドで結束中、作業対象の隣に積まれていた10段の束(高さ1.8メートル)が上から7段分倒壊し、その下敷きで倒れているのを発見された。
34	12月 16時頃	その他 (農業) 10人～29人 60歳～64歳	立木等  墜落、転落	街路樹等維持業務委託において、市道(傾斜7度)の街路樹の剪定作業中、高さ6.75メートル、胸高直径26センチメートルのイチヨウの木を剪定を終えて下りる際に、高さ約5メートル付近から歩道に墜落した。
35	12月 10時頃	自動車・ 同付属品 製造業 10人～29人 60歳～64歳	トラック  はさまれ、 巻き込まれ	被災者は製造中のトラック(コンテナ着脱用アームを備えている、通称アームロール車)のシャーシにバックカメラの配線を取り付けていた。コンテナ着脱用アームが妨げとなるので約45度起こし、その下方で作業中、油圧が落ちて下降したアームとシャーシの間にはさまれた。
36	12月 11時頃	その他 (農業) ～9人 70歳～74歳	手工具  切れ、こすれ	被災者は、庭や街路用等の樹木を育てる畑で、一人で軽トラに枝打ち後の枝を積んでいたが、太腿の後ろ側に刺し傷を負って倒れているのを発見された。荷台内で刃(長さ8センチメートル)を上にして立てかけてあった枝切りバサミの上に尻もちをつき、深く刺さったと推測される。
37	12月 23時頃	その他 (その他の事業) 10人～29人 30歳～34歳	乗用車、バス、 バイク  交通事故(道路)	運転代行に呼ばれて軽乗用車で向かう途中、国道の信号のある交差点で右折中に、対向車線を直進してきた普通乗用車に左側面に衝突され数回横転し、運転席の労働者が死亡、助手席の労働者が重傷を負った。